

知っておきたい！

# 防災 減災 知恵袋

Vol.17 通電火災に気をつけよう

通電火災とは、地震や台風等の自然災害の影響による停電から、電気が復旧したときに起こる火災のことです。電気の供給が回復したときに、ストーブなどの電気機器の電源が入ったままの状態だと、再通電によりストーブなどが稼働し、接していた可燃物が出火したり、破損した電気配線からの漏電により火災が発生する場合があります。災害時に停電が発生した場合は、「通電火災防止のためのポイント」に注意しながら、避難などの命を守る行動をしましょう。



## ⚠ 通電火災防止のためのポイント ⚠

再通電しても出火の危険がない状態に！

- ・ 停電中は電気機器のスイッチを切り、コンセントから抜いておきましょう。また、避難などで家を空ける際にはブレーカーを落としておきましょう。

再通電させる前に機器の状態や室内を確認！

- ・ 漏水等で電気機器等が破損していないか、配線やコードが損傷していないか確認しましょう。
- ・ 可燃物が電気機器に接触していないかなど、十分に安全を確認してから使用しましょう。

再通電後も細心の注意を！

- ・ 壁内配線の損傷や電気機器内部の故障により、再通電から長時間経過後に、火災に至る場合があります。煙の発生等の異常が見られたら直ちにブレーカーを落とし、消防機関に連絡を。

問 防災安全課 内線 2134